

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /  
おうちの方へ / 理解シート

## いくつといくつは，どのように教えればよいのですか



おはじきを分ける遊びなどを通して，数のイメージを体感させましょう。

1

### おはじきを分ける遊びをしましょう。

おはじきを分ける「いくつといくつ」の遊びがあります。

例えば，「5は，いくつといくつ」の場面では，

- ① はじめに，5個のおはじきの個数を数えます。
- ② 5個のおはじきを，(4個と1個)に分けます。そして，個数を数えます。
- ③ 5個のおはじきを，(3個と2個)に分けます。そして，個数を数えます。
- ④ 5個のおはじきを，(2個と3個)に分けます。そして，個数を数えます。
- ⑤ 5個のおはじきを，(1個と4個)に分けます。そして，個数を数えます。

・おうちの方と1年生が，分け方をいっしょに考えるようにしましょう。

2

### 分けたおはじきの一方をかくす遊びをしましょう。

分けたおはじきの一方をかくして，かくした方のおはじきの個数を当てる遊びがあります。

例えば，「5個のおはじきの遊び」では，

- ① はじめに，5個のおはじきを見せて，個数を数えます。
- ② 5個のおはじきを両手で持ってかくして，2つに分けます。
- ③ ②の一方の手を開いて，その個数を数えます。
- ④ 開いていない方のかくされているおはじきの個数を当てます。
- ⑤ 数が合っているときは，手を開きます。

- ・おうちの方と1年生が，かわるがわる問題を出し合うと，楽しいゲームになります。
- ・このような遊びは，ズバリ，「いくつといくつ」の学習になります。
- ・はじめの個数を，3から10の範囲で変えて遊んでみましょう。
- ・遊びを通して，数のイメージが十分に形成された後で，数字での「いくつといくつ」を勉強するようにしましょう。